

# 技術と文化を組み合わせることで透明性を促進する

2020年2月7日 金曜日



毎年、同僚と私は GFSI 会議を楽しみにしています。GFSI 会議は、すべての方の予定表の中で食品安全に関する最も重要な世界的イベントであり、毎年趣向が違います。去年は、新興テクノロジーが食品安全の基準をより効果的にサポートする方法について多くの議論がありました。私たちは、スマートグラス・リモート監視トレーニングおよび監査ツールである『EyeSucceed』と、タンパク質のサプライチェーンに信頼と透明性をもたらすブロックチェーンソリューションである『NSF Verify™』の 2 つの最新の技術開発を紹介しました。

それから 12 か月後、これらの概念を改良し、市場に投入することに向けて多くの進歩を遂げました。今、市場で運用されれば、間違いなくユーザーと最終消費者に利益をもたらすでしょう。会議中の特別セッションでは、EyeSucceed および NSF Verify™に関する最新ニュースを発表します。

しかし、テクノロジーの役割についてのセクターでより明確で客観的になり、消費者の食品安全性の向上をサポートするためにどのように最適に使えるかが、私の中で最も重要なことです。テクノロジー自体のためにテクノロジーを使用するという最初の熱意と奔出は、私たちが達成しようとしていることの内相的理解に置き換えられました。

技術ツールは、一回限りのチェックからサプライチェーン全体の継続的な監視と改善された可視性に焦点を移すのを助けます。同時に、非難する傾向から、透明性と開放性が標準となる供給ネットワーク内のすべての人たちの間のより協調的なアプローチに移行することができます。すでに述べたように、先は長いですが、進む方向と移動速度は励みになり、NSF のような組織が先導しています。

しかし、なぜこれを行うのかを忘れないでください。食品安全基準の特定と維持における最も重要な要素は、人間のものです。すべてではありませんが、技術ツールは、食品安全の失効の一般的な原因であるヒューマンエラーの要素のいくつかを回避するのに役立ちます。健康的な食品安全文化と消費者の食品安全基準の保護に焦点を当てた堅牢なシステムは、常に私たちの集団目標です。

消費者は確かに安全な食品を期待し、与えられるべきである一方で、購入するブランドの透明性にますます興味を持ち始めています。今日、サプライチェーンの透明性への主な原動力は消費者の信頼であり、消費者はブランドが信頼を獲得し誠実さを証明する方法を指示し始めています。ミレニアル世代は成人となりました。20 歳から 40 歳までのこの巨大な消費者グループは現在、世界で約 18 億人に達し、推定消費電力は数兆ドルです。彼らは、私たちの世界に影響を与える環境と倫理的および社会的問題に対して、より責任ある態度を持つ傾向があります。これは、情報へのアクセスの大幅な増加と、購入の選択肢に与える影響によって、大部分が支援されています。技術は彼らに情報を提供し、力を与えました。

特にコンプライアンスやデューデリジェンスに関する問題の裏側もマーケティングの機会であると認識しているブランドが増えるにつれて、これらすべての分野の透明性が高まります。一部のブランドは実際にオープンな文化を受け入れています。また、透明性は消費者を引き付け、同じ考えを持った忠実な消費者基盤と価値を共有するための重要なマーケティングツールとしてますます注目されています。彼らは、「正しいことをする」ことを受け入れる文化が、デューデリジェンスとコンプライアンスを実証すると同時に、競争上の優位性を生み出す方法を示しています。

この点で、ブロックチェーンは、生産プロセスのすべての段階でデータをロックダウンし、製品パッケージの簡単な QR コードを介して購入決定を行う際に、アクセス可能な方法でフォーマットされた情報を消費者に配信する機能により、優位性の実現手段になりつつあります。

テクノロジーは、食品の安全性を変える方法になりますが、基本を忘れないでください。人々を大切にし、エンパワーメントとオープンさを奨励し、正しい行動を促す健康的な文化は、食品の安全性を前進させる真の飛躍となります。すべての関係者にとって有益である長期的で信頼できるサプライヤーとの関係は、ブロックチェーンシステムまたは認証プログラムが実行できる以上の、優れた行動と倫理的慣行の基盤を築きます。うれしいことに、正しいことをすることが評価される正しい文化は、最終的に良いことである、ということです。テクノロジーは、ブランドが行っている良い仕事を消費者に見せ、購入する製品への信頼を高めます。

シアトルでお会いできるのを楽しみにしています。



**NSF インターナショナル・スペシャル・セッション:**

2月27日 8:00-9:00

「現実への概念: 実際のスマートグラスとブロックチェーン— 1年で何という違いなのか」

講演者には、グラス(グーグル)のメル・チュアと、私たちのブロックチェーンを基盤としたプラットフォームサービスである NSF Verify™の開発を紹介するキアーナン・ケリーが含まれます。



この投稿は次の人によって執筆、寄稿されました。

NSF インターナショナル

サプライチェーン食品安全担当グローバルマネージングディレクター

ロバート・プレベンダー